

「野党共闘」威力

参院選
政治を変えるチャンスです

野党と市民が本格的に共闘した衆院北海道5区補選(4月24日投開票)。野党統一候補の池田真紀氏は敗れたものの得票率47.6%の大健闘。当初は“自民圧勝”と

北海道5区で
大健闘

いわれていましたが、無党派層の7割が池田氏を支持するなど「野党共闘が、与党に迫る大きな力になりうることを示した」(「朝日」4月25日付)結果となりました。



滋賀

近畿で初の野党統一候補
協定調印後に握手する林久美子選挙区予定候補(中央)と野党の代表ら 4月24日

1人区 統一候補が大勢に

参院選に向け、安保法制廃止、立憲主義回復で一致した5野党(共産、旧民主、旧維新、社民、生活)の統一候補の擁立が32の1人区のうち20選挙区と大勢になりつつあります。

日本共産党

選挙の対決構図は「自公+補完勢力=おおさか維新 VS 野党+市民」。与野党逆転、政治を変える絶好のチャンスです。

熊本地震 救援募金にご協力をお願いします

変えるべきは 憲法ないがしろの政治



安倍改憲許さない



「安倍改憲許すな」「戦争法廃止を」と5万人が参加した憲法集会 3日、東京都江東区(しんぶん赤旗提供)

戦争法廃止を

「憲法変えるな」が増える

戦争法で憲法9条を破壊し、「任期中の改憲」を公言する安倍首相のもと、「憲法変えるな」の声が高まっています。「朝日」調査(3日付)では、憲法を「変える必要はない」が昨年の調査の48%から55%に増え、「変える必要がある」は昨年の43%から37%に減りました。

参院選勝利で新しい政治を

日本国憲法は、9条という世界で最も進んだ恒久平和主義の条項を持ち、30条にわたる豊かで先駆的な人権条項が盛り込まれています。変えるべきは憲法ではなく、憲法をないがしろにした政治です。

日本共産党は参院選勝利で、憲法が生きる新しい政治をめざします。

近畿民報

2016年5月 No.1(第233号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06 (6975) 9111 Fax.06 (6975) 9115
Eメール: jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を
発表しました。